

経営比較分析表（令和6年度決算）

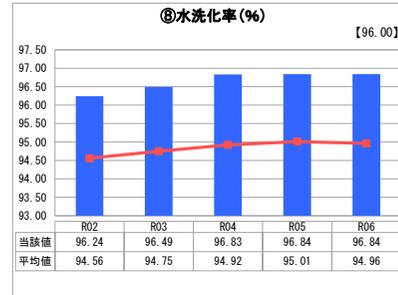
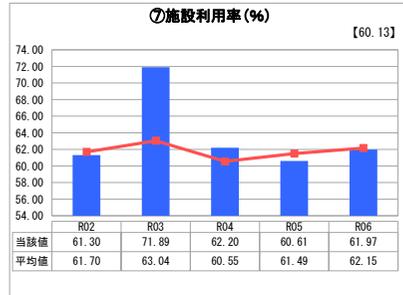
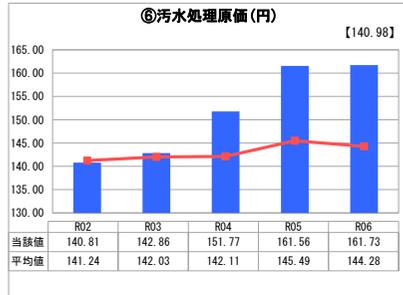
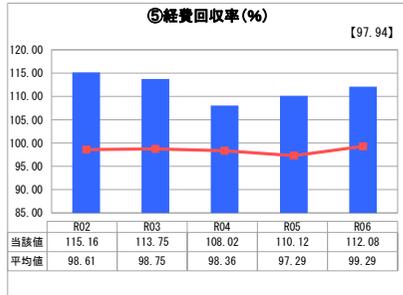
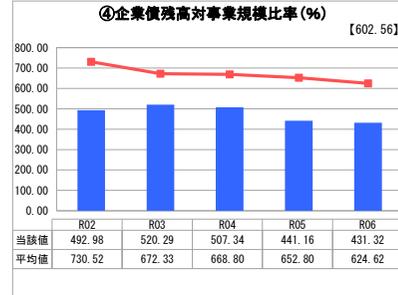
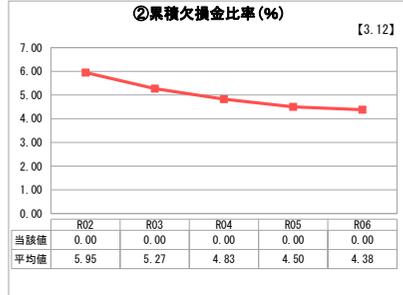
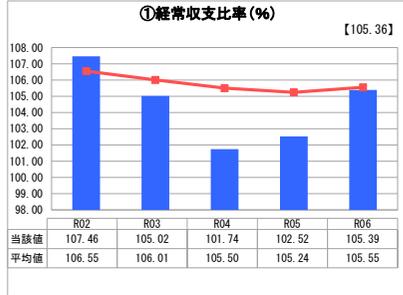
神奈川県 横須賀市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ac1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	67.89	98.37	76.48	2,670

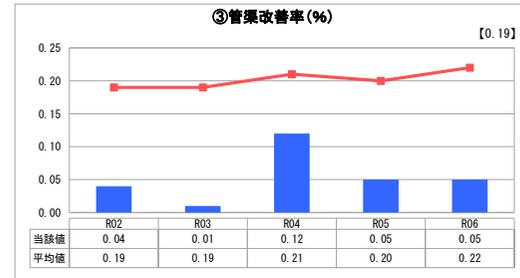
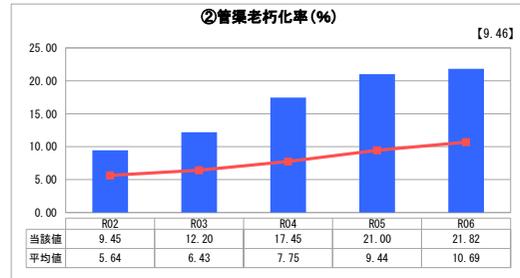
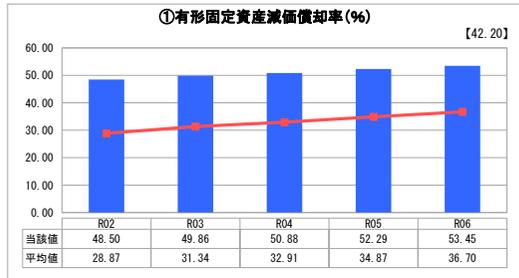
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
379,041	100.80	3,760.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
370,527	59.22	6,256.79

グラフ凡例		
■	当該団体値(当該値)	
—	類似団体平均値(平均値)	
[]	令和6年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は昨年度より上昇し、100%以上で推移しており、②累積欠損金比率も引き続き0%となっています。
 ③流動比率は100%を大きく下回っていますが、令和5年度に下水道使用料を改定したことで改善傾向にあります。
 ④企業債残高対事業規模比率は減少傾向にあり、類似団体平均値を下回っています。
 ⑤経費回収率は100%を上回り、使用料で回収すべき経費を全て使用料で賄っており、類似団体平均値も上回っています。
 ⑥汚水処理原価は、市内の土地の起伏が大きく、19か所のポンプ場と3か所の終末処理場が稼働し、その維持管理費及び減価償却費がかさむため、類似団体平均値に比べ高くなっています。
 ⑦施設利用率は、横ばいで推移しています。今後も、施設の統廃合などによるダウンサイジングを検討します。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率及び②管渠老朽化率は、処理開始から50年以上が経過し、法定耐用年数を超える資産・管渠が徐々に増加しており、類似団体平均値より高くなっています。
 ③管渠改善率は、中核市平均を下回っていますが、施設更新には費用と時間が必要なことから、ストックマネジメントの活用により長寿命化を図り、施設更新スケジュールの最適化と費用の平準化・低減を進めます。

全体総括

人口減少・水需要の減少に伴う収入の減少、施設の老朽化に伴う維持管理・更新費用の増大など、経営環境は厳しい状況にあります。
 令和4年度から令和15年度までを計画期間とするマスタープランでは、人口・水需要の減少、施設の老朽化、環境対策、災害対策など、事業を取り巻く課題とその変化に対応できる「未来につながる最適な水道・下水道」の実現を目指して、計画的に事業を運営します。
 今後も計画を定期的に見直ししながら、費用の抑制・財源の確保を図ります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。